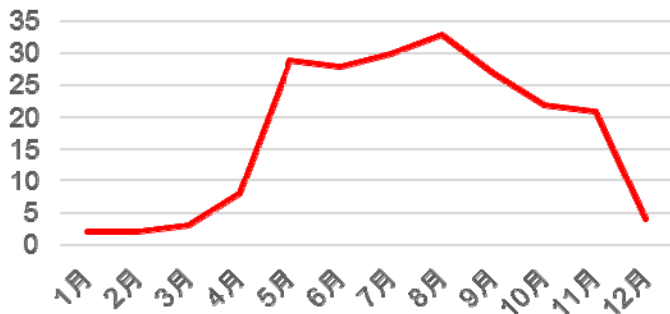


マリンレジャー活動前に発航前点検を！！

北海道における過去10年の月別釣りボート事故隻数



■ 12月～3月までの冬期間は稼働が少なく、暖くなるゴールデンウィークを境に機関故障等の事故が急上昇しています。

昨年発生したプレジャーボートの船舶事故のうち、約4割は整備不良が要因となる機関故障や燃料欠乏などの運航阻害、火災が原因です。

これらの船舶事故の多くは小型船舶操縦者（船長）に義務づけられている簡単な発航前点検により未然に防止できるものも含まれています。

たとえ機関故障等の船舶事故であっても、機関等が故障することで操船が困難となり、操縦者の生命にも係わるケースや他船に影響を及ぼす事例もあります。

特に冬期間無稼働だったプレジャーボートを運航する際は、これらに起因する船舶事故を未然に防止するため、業者による点検整備や発航前点検を確実に実施しましょう。

機関故障・運航阻害の主な原因

機関故障	燃料系	燃料フィルタの汚れを確認せず出港し、フィルタが詰まったもの。
	電気系	点火プラグやセルモータの不具合を放置し、沖合で機関が始動できなくなったもの。
	冷却水系	海水ポンプインペラを長時間交換せず使用し、インペラが破損、機関停止したもの。
	軸系	クラッチオイルの量を確認せず機関を始動し、焼き付いたもの。
運航阻害	過放電	エンジンを止めたまま、沖合で魚群探知機やレーダを使用しつづけたもの。
	無人漂流	係留用のロープが長い間の使用による劣化により切れ、漂流したもの。
	燃料欠乏	燃料残量を確認せずに出港し、燃料切れとなり、漂流したもの。

室蘭港内で防波堤に衝突



昨年12月には約3,400トンのタンカーが、今年2月には約750トンの貨物船が室蘭港の防波堤に衝突しました。

詳細な原因は調査中ですが、船舶を運航する際は常時適切な見張りを徹底しましょう。

なんてたって見張りだね！



お問い合わせは **第一管区海上保安本部交通部**

電話 0134-27-0118 (内線2615, 2616)

MICSホームページ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>



海難隻数及び海難による死者・行方不明者数 (速報値)

2月	3隻、0人
平成27年累計	7隻、0人